

12番 岩松 近俊 議員

1 廃校施設について

- (1) 昨年度の廃校施設維持管理状況及び管理費用について示されたい。
- (2) 利活用用途の決定していない廃校施設について、これまでどおり民間企業や地域主体による管理運営推進を図るのか、又は新たな利活用方法を検討しているのか、今後の見解を示されたい。
- (3) 廃校施設の活用においては、地域の高齢化や人口減少により、居住する生活環境の変化、又は施設の老朽化による施設の利用がままならない状況が今後予想される。現状において課題や要望の聞き取り調査を行い、早い対応策が求められるが本市の見解を示されたい。

2 スポーツ振興について

- (1) 第2期鹿屋市スポーツ推進計画が策定され、計画理念として、「スポーツを通じた活力ある社会の実現」を掲げ、市民の健康づくりや、地域・経済の活性化、地域の絆づくり等へつながっていく、ひとが元気！まちが元気！「未来につながる健康都市 かのや」の実現を目指すとしている。実現のためには、第1期計画の取組評価及び推進体制が必要と思われるが見解を示されたい。
- (2) 鹿屋市スポーツ関係施設再配置計画について
 - ① テニスの交流拠点づくりとして、鹿屋中央公園のテニスコート増設計画は、2度にわたる計画見直しが行われ、野里運動広場周辺への新規施設整備が決定された。幅広い利用者の増加が見込まれる施設として、今回の施設整備内容はスポーツ交流拠点づくりの方針から逸脱していると思われるが見解を示されたい。
 - ② サッカーの交流拠点づくりとして、鹿屋運動公園のサッカー専用競技場整備計画の見直しは、野里運動広場への増設整備と変更された。スポーツ交流拠点としての位置付けの整備になるのか、また整備後の施設管理は指定管理で行うのか見解を示されたい。
 - ③ 野里運動広場整備事業（仮称）の選定理由の1つとして、既に大規模な駐車場が整備されているとのことであるが、多くの利用者が国道を横断する施設として安全性に疑問を感じるが、見解を示されたい。